

総務常任委員会 視察研修報告

(期間) 8月20日～22日
(目的及び視察地)

千葉の親子三代夏祭り
千葉氏の歴史研修

(千葉県千葉市)

8月20～21日千葉市、
22日東京都において視察
研修を行った。

千葉市とのかかわり
は、平成28年8月21日に
千葉氏サミットに際して
共同宣言書をかかわしたこ
とによる縁からである。

宣言の主な内容は、

一、「千葉氏」の全国的
知名度の向上を目指
します。

一、「千葉氏」に関する
歴史や文化につい
て、「日本遺産」認
定を目指します。

20日(日)は、本祭り
当日であり、第42回千葉
の親子三代夏祭りの現場
視察を行った。人口97万
人の政令指定都市、千葉
市のお祭りであり、昨年



▲千葉氏の歴史研修状況

実施報告で延べ36万5千
人の参加があった祭りら
しく、今回も大変な賑わ
いで都市の祭りの活気が
感じられた。

21日(月)は、千葉市
庁舎を訪問し、千葉氏の
歴史研修を行った。

小城市には千葉胤貞ゆ
かりの寺社が数多く残る

事を再確認した。
22日(火)は、議員会
館会議室において国土交
通省関係者と佐賀唐津道
路等の事業について路線
計画、事業主体等の研修
を行った。

文教厚生常任委員会 視察研修報告

(期間) 8月20日～22日
(目的及び視察地)

千葉の親子三代夏祭り

(千葉県千葉市)

子育て応援都市宣言…子
育て環境日本一への取り
組みについて

(茨城県龍ケ崎市)

千葉市における、親子
三代夏祭りを視
察体験した。こ
の祭りは今年が
42回目で、市民
意識・ふるさと
意識の高揚を図
ることを目的と
し、「子どもた
ちに夢を、ふる
さとづくり」を
テーマに、より
多くの市民が参
加し、見て、楽
しめる祭りとし
て実施されてい
て、人の多さと
祭りのスケール
の大きさに圧倒
された。

千葉市における、親子
三代夏祭りを視
察体験した。こ
の祭りは今年が
42回目で、市民
意識・ふるさと
意識の高揚を図
ることを目的と
し、「子どもた
ちに夢を、ふる
さとづくり」を
テーマに、より
多くの市民が参
加し、見て、楽
しめる祭りとし
て実施されてい
て、人の多さと
祭りのスケール
の大きさに圧倒
された。



▲駅前こどもステーション

龍ケ崎市では、
子育て応援都市宣言・子
育て環境日本一をめざし
たまちづくりについて視
察した。具体的な施策と
しては①結婚・妊娠・出
産・育児・教育それぞれ
のステージに応じた支援
メニューの充実として、
保育所の新設や定員の見
直しによる保育所入所枠
の拡大。ファミリーサ
ポートセンターの開設、
リフレッシュ保育事業な
どが実施されていた。②
子育て支援として、保
育・預りサービスの充実、
多子世帯支援、そして特
記すべきことは、駅のス
ぐ近くに駅前こどもス
テーションが
開設されてい
た。(県内初)。
またその他の
特色として、
市長公室とそ
の中にシテイ
セールス課が
設置され、市
外へ認知度向
上やイメージ
アップ等を、
庁内の横の連
携を取りなが
ら効果的にど
んどん情報発
信がなされて
いた。

テーションが
開設されてい
た。(県内初)。
またその他の
特色として、
市長公室とそ
の中にシテイ
セールス課が
設置され、市
外へ認知度向
上やイメージ
アップ等を、
庁内の横の連
携を取りなが
ら効果的にど
んどん情報発
信がなされて
いた。

(期間) 7月24日～26日

(目的及び視察地)

議会改革について

(埼玉県所沢市)

議会改革の取り組みと通年議会制について

(東京都荒川区)

回開催し5月開会で翌年4月が閉会。導入のメリットとして災害時緊急事態などに機動的な対応が可能で専決処分を事実上回避できるようになること、通年議会を実施するに伴う経費の増や事務

処理負担の増もなくスムーズに運営されていた。また公共交通機関の運営についても研修した。この研修で勉強した事を小城市でも可能か検討していきたい。

7月24日から26日まで

議会運営委員会の視察研修を行った。まず埼玉県所沢市議会を訪問し議会改革等の取り組みについていかに市民にわかりやすい市政の報告、または要望等を直に聞くことに苦心されていた。例えば、お茶を飲みながら市民の本音を聞き市政に反映させる懇談会(みみ丸カフェ)を開催されていた。また議会のICT化を推進したり議会事業評価、議会改革の評価・政策討論会の開催など先進的な改革が行われていた。次に荒川区議会を訪問し通年議会について研修を行った。定例会は年1



▲議会改革についての研修

(期間) 8月2日～3日

(目的及び視察地)

議会広報の編集・発行について

議会モニターについて

(山口県山陽小野田市)

(山口県防府市)

山陽小野田市は山口県

南西部に位置し、南は瀬戸内海に接する人口6万人

の都市である。

広報広聴特別委員会は、9名で構成し、議会

だよりの編集、議会フェ

イスブック、HP等の作成

をされていた。

広聴活動として、議会

報告会は定例会終了後、

市内6校区で年4回(年間

24回)開催し、各会場

10名未満もあるとのこと

だが、議員は6班に分け

て出席されていた。

市民懇談会は、市民10

名以上の要請があれば懇

談会に向いていた。

また、市民から市議会

の活動に関して意見を聞

き、今後の議会活動に反

映させるため、今年度か

ら10名の市民を公募して

「市議会モニター制度」

が始められていた。

防府市は瀬戸内海沿岸

のほぼ中央に位置し、平

成の合併では協議が整わ

ず単独市制を選択した人

口は11万6千人の歴史の

ある都市である。

議会広報は議会基本条

例で情報提供の広報媒体

と規定し、「議会広報発行

に関する要綱」も定めて

いた。全議員が任期中に

1年間は広報委員として

活動されている。

広報活動では、市自治

体連合会と議会報告会に

関する協定書を交わし、

共催により毎年5月に16

地区で開催。延べ400

人前後の市民が参加。市

民団体や市民からの申し

込みによって議会懇談会

を開催するなど、議会と

地域との連携がなされて

いる。

議会モニター制度は、

公募6人、団体推薦4人

合わせて10人を2年間委

嘱し、モニターの意見は

「モニター通信」として提

出され、また議会モニ

ターの方と議員との意見

交換会も行われている。

特筆すべきは政策討論

会であった。議案になっ

ていない政策、課題の討

論を全員協議会方式で行

い、条例の制定に向けて

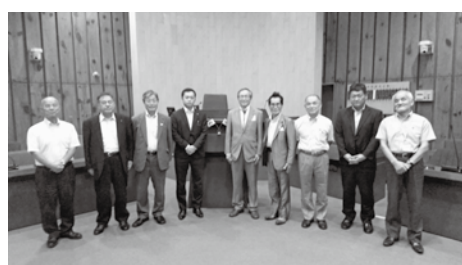
議論し、執行部も必要な

条例と判断すれば議会と

執行部が協議する中から

条例制定に向けて取り組

まれていた。



▲山陽小野田市視察研修